



健康社会学研究会

ニューズレター No. 79

発行：健康社会学研究会

事務局：〒164-8530 東京都中野区中野 4-21-2 帝京平成大学 現代ライフ学部 人間文化学科（担当 森川 洋）

FAX 03-5860-4945 E-mail : h.morikawa@thu.ac.jp

ニューズレター NO. 79 / 2016 年 4 月 編集担当：高澤みどり

平成 28 年度総会の開催～出席と委任状提出のお願い～

平成 28 年度総会を 6 月 18 日（土）の第 117 回月例会終了後に開催します。

同封の総会議案書を持参の上、ご出席ください。

なお、ご欠席の方は、お手数をおかけしますが 6 月 3 日（金）までに同封用紙にて委任状を事務局まで郵送いただくようお願いいたします。

健康社会学研究会 代表 松岡 正純

5 月 第 55 回セミナーのご案内

まちづくりや健康行動には、当事者の主体的な学習や行動変容が大切です。

今回のセミナーでは、市民や学生といった当事者の主体的な学びを引き出しながら、場をつくりあげていくことを目的として、「アクティブラーニング」「ファシリテーション」「ワークショップ・デザイン」を取り上げ、レクチャーと体験的な演習を通して、その基礎を学びます。

※ 大学教員など希望者には（FD）受講証を発行します。

テーマ：市民・学生の主体的な学びを引き出す

～アクティブラーニングとワークショップ・デザイン～

日時：平成 28 年 5 月 14 日（土）14:00～17:00（受付 13:30～）

会場：帝京平成大学中野キャンパス（201 教室）（中野区中野 4-21-2）

参加費：会員無料 非会員 2,000 円 学生（大学院生除く）500 円

プログラム：

第 1 部 アクティブラーニング（AL）の基礎
演習：質問づくり（QFT）を用いた AL 体験

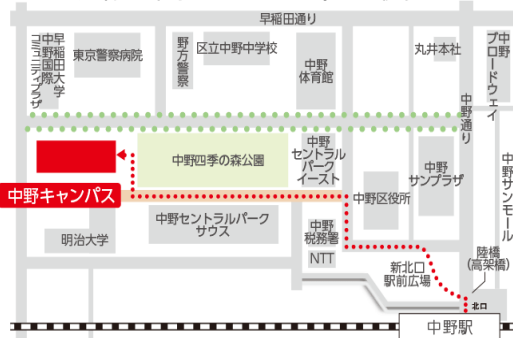
第 2 部 ファシリテーションの基本
演習：ボードミーティングで
ファシリテーション体験

第 3 部 ワorkshop・デザインの基本
演習：ワークショップのデザイン体験

講師：福島 毅 氏（千葉県柏市教育研究所/
リンクアンドクリエイイト代表）

【会場アクセス】

JR 中央線 東京メトロ 中野駅 徒歩 8 分



★セミナー終了後、中野駅周辺で懇親会を予定しています 引き続きご参加ください

6月 第117回月例会のご案内

テーマ:保健的小集団の機能と活動について (大学院研究の中間発表を兼ねて)

報告者: 上杉 剛 氏 ・ 鈴木 了栄 氏 (東洋大学大学院博士課程前期2年)

日時: 平成28年6月18日(土) 15:00~17:00 (受付14:30~)

会場: 東洋大学ライフデザイン学部 (朝霞キャンパス) 研究棟2階大学院演習室
(埼玉県朝霞市岡48-1)

参加費: 会員無料 非会員1,000円

★当日は平成28年度総会を月例会終了後に開催

★総会終了後、朝霞台駅前で懇親会を予定しています
引き続きご参加ください



【会場アクセス】東武東上線朝霞台駅・JR武蔵野線北朝霞駅 徒歩15分

2月 第116回月例会のご報告

テーマ:ファッションは人々の健康や幸福に貢献するのか?

~ファッション(健康)心理学の観点から~

報告者: 杉田 秀二郎氏 (文化学園大学現代文化学部応用健康心理学科)

日時: 平成28年2月27日(土) 15:00~17:00

場所: 文化学園大学 新都心キャンパス F館4階F45教室

人間の生活に必要な衣食住のうち、衣は時にぜいたく品とみなされて食や住とは違ったとらえ方をされることが多い。それは、逆に衣がそれを着る人にとって(文字通り)身近な物であり、心理学的にはその人自身を代わりに表すものであるからである。

「ライフスタイル」というと健康科学分野では生活習慣を指すことが多いが、生活分野では主として若年女性の「美」や「おしゃれ」、「ファッションナブル」などの生活様式や生き方という意味で使われており、健康科学とファッションの共通点となっていることは興味深い。

実際に、特に若年女性が色鮮やかなウェアを着てランニングやジョギングをしたり、山に登ったり(山

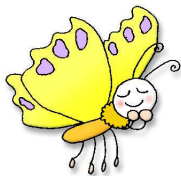
ガール)、ゴルフをしたりということが見られるが、その動機として「おしゃれに楽しみたい。それが健康にいいことだったらもっといい」といったことが考えられる。つまり、ウェア（ファッション）が健康行動を促進するツールとなる可能性が考えられるのである。実証研究はこれからであるが、ファッションという視点やアイテムがプリシードプロシードモデルの準備要因や、トランスセオレティカルモデルの前熟考期（無関心期）や熟考期（関心期）において行動を促進する要素となり得るのではないかと考えられる。

また発表者が直接関わった研究ではないが、女性高齢者の情動の活性化のためにファッション（服）が使われていることも報告した。

質疑応答では、自治体によっては高齢者を対象としたファッションショーを行っているという情報や、ファッションショーを高齢者の活性化に生かせるのではないかという意見があった。発表した側からすると、他者にアプローチする手段としてとらえる視点以外に、参加者が自分自身を（自分はファッションナブルだろうか…？）と振り返っている視点があり、それが興味深かった。

懇親会では、特に中年男性が「いかに自分がイケている（いた）か」というファッション談義に花を咲かせていたが、これもファッションをキーワードとした情動の活性化の一つかもしれない。一方でそれは、ファッションというものが中年男性にとってまだまだ特別なものであることの裏返しで、自然にさりげなく装うことのできる若者との違いかもしれないという新たな仮説が生じた一夜でもあった。

（文責 杉田秀二郎 発表者・健康社会学研究会運営委員）



出版企画委員会より

現在の状況ですが、執筆者の皆さまのおかげで校正もほぼ終わり、書籍としての体裁を整えているところです。出版企画委員、出版社、執筆者それぞれの事情で遅れが生じておりますが、遅くとも今年度の総会までには披露できるよう努力しております。何とぞご理解をお願い申し上げます。

(出版企画委員会 委員長 杉田秀二郎)

事務局からの連絡

■ 平成28年度会費納入のお願い

毎年会費の納入についてご協力頂きありがとうございます。今年度も同封の払込票、もしくは銀行振込にて平成28年度会費の納入を7月29日(金)までをお願いいたします。

(既にお振込みいただいている場合、払込票は同封しておりません。)

【会費納入先】

郵便振替：00100-8-41025

銀行口座：みずほ銀行広尾支店 普通 1842122
健康社会学研究会 代表 松岡正純

ゆうちょ銀行(金融機関コード：9900)
当座 〇一九店(ゼロイチキュウ店：店番019)
0041025 ケンコウシャカイガクケンキュウカイ

■ メールによる研究会情報の配信について

メールアドレスをお知らせ頂いている会員の皆様には、メール配信による告知を行っております。差し支えないようでしたら、まだお知らせ頂いていない会員の皆様もメールアドレスを事務局(h.morikawa@thu.ac.jp)までご連絡ください。

なおニュースレターは、これまで通り、紙媒体による送付を行っています。どうぞよろしくご願ひいたします。

■ 会員情報の変更について

入職、異動等々、ご所属先などのご変更がございましたら、同封の健康社会学研究会連絡用紙にご記入の上、ご返送ください。

なおメール(h.morikawa@thu.ac.jp)にてご連絡いただいても構いません。